

令和6年度

富田小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①基礎的・基本的内容の確実な定着のため、朝の活動や授業内容、家庭学習を工夫する。
- ②自ら考え、学び合い高め合うための、発問や授業展開の工夫・タブレットの効果的な活用の充実

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 天野 友梨	委員 校長 齋藤 大輔	教頭 市原 奈緒子
	教務 湯口 泰子	特別支援 濱田 俊子
	1年主任 日浦 有紀子	2年主任 安田 美香
	3年主任 大西 翼	4年主任 天野 友梨
	5年主任 美馬 武宜	6年主任 美馬 彰仁

校長 齋藤 大輔

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会をとらえ、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能の習得に関して、まじめに取り組もうとする児童は多い。習った内容については8割程度の児童が習得していると考えられる。 ●全体的に語彙の少なさに課題がある。また、少人数ではあるが、基礎的・基本的内容の習得に遅れが目立つ児童がいる。	・日常生活に必要な知識や技能を身につけ、他の学習や生活の場面で活用することができる。 ・タブレットを目的に応じて活用することができる。	・新聞や百人一首などを朝の活動や家庭学習で効果的に利用し、語彙の充実を図る。 ・教材教具や板書、また発問などを工夫し、「わかる授業」を行う。 ・ふり返る機会を多く取り、学習してきたことを活用できる場面を設定する。 ・ICTを効果的に活用し個に応じた指導の充実を図る。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを发表或し、相手にわかりやすく伝えようという意識をもって表現しようとする児童が増えている。 ●文章を読みとる力が全体的に弱く、課題に合わせて必要な情報を取り入れることが苦手である。また、自分の言葉で考えをまとめたり説明したりすることに課題がある。	・友達の話をよく聞き、自分の考えをしっかりと持ち、根拠をもって考えを書いたり伝え合ったりできる。 ・自分の考えと友達の考えの共通点や相違点をあきらかにすることができる。	・ノート指導を充実させ、書く活動を活発に行い、自分の考えをもてるようにする。 ・ICTを効果的に使い、話し合い活動を充実させて、考えを分かりやすく伝える活動を積極的に行う。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○どの学年もきまりを守り、落ち着いて学習に取り組んでいる。与えられた課題に対してまじめに取り組もうとする児童が多い。 ●学習に対して主体的に取り組もうとする意欲に乏しい。また、難しい課題に対してあきらめてしまう児童も多い。	・タブレット等を活用しながら、各教科の学習や自主学習に自ら進んで取り組むことができる。 ・課題に対してあきらめずに最後まで取り組むことができる。	・ICTを活用し、主体的・対話的で深い学びの視点を持ち授業改善を行う。 ・学校全体での家庭学習の手引き、学年に応じた自主学習の手引きなどをもとに、家庭学習を支援し家庭との連携を図る。			

令和6年度 学力向上ロードマップ



